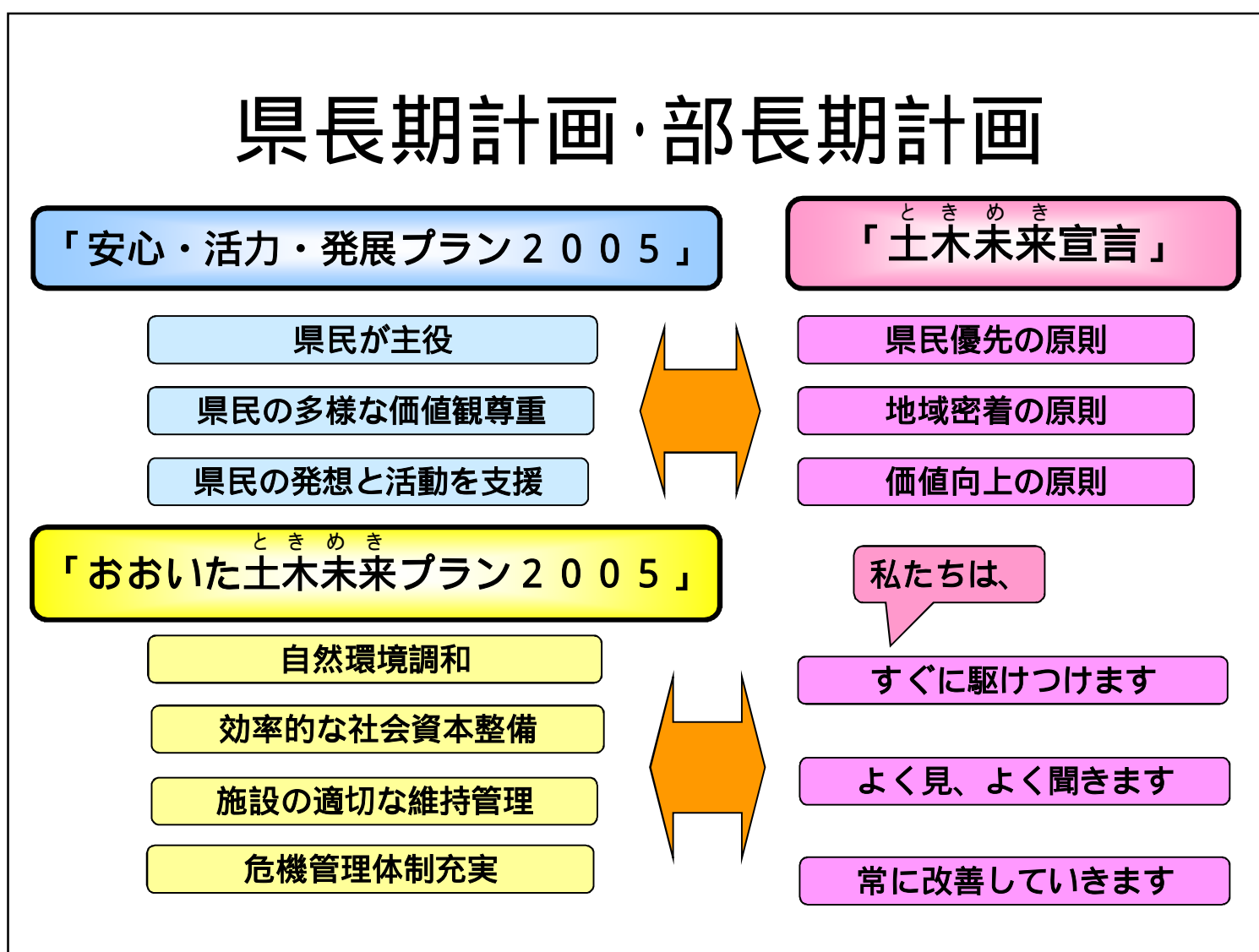
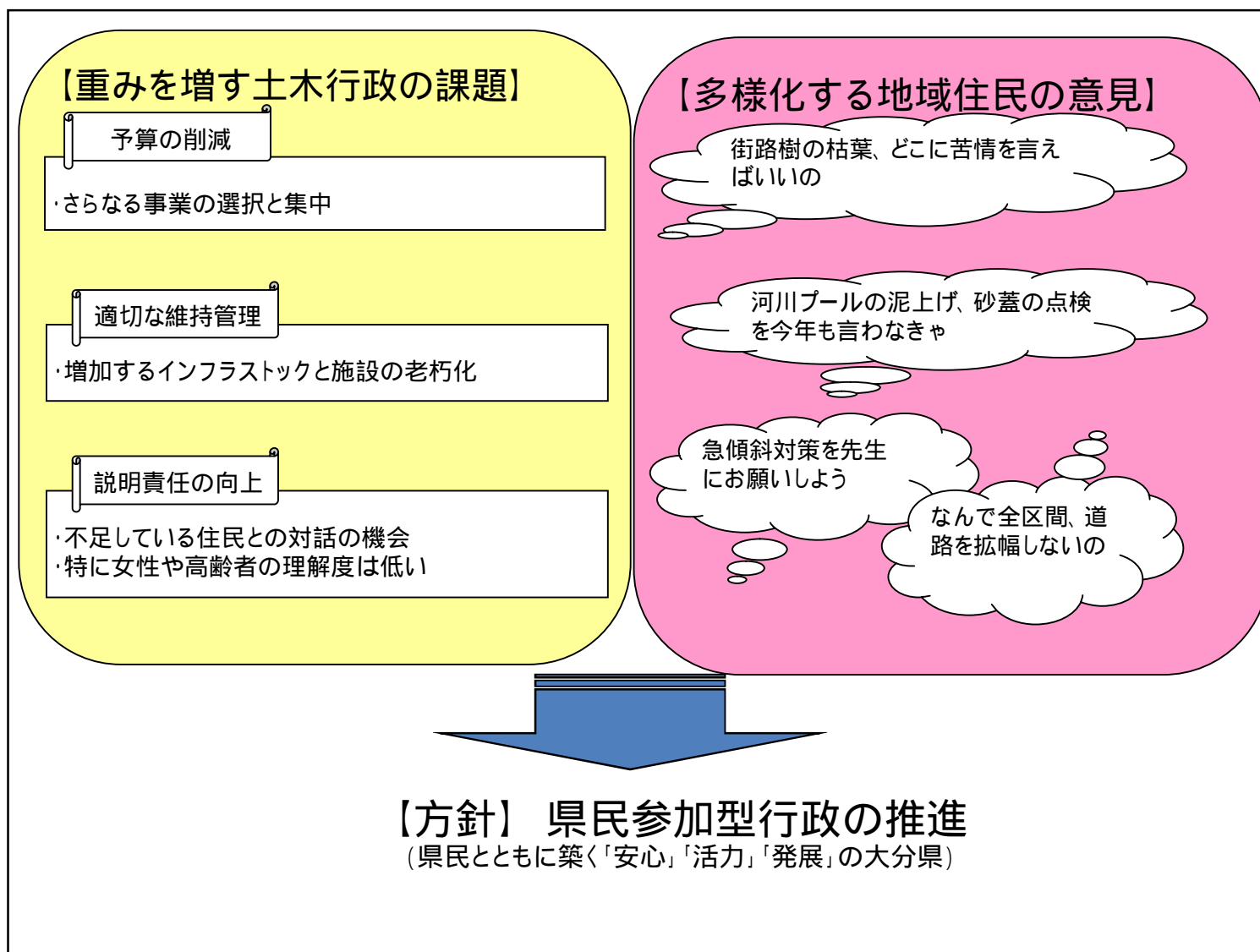


地域協働型土木行政推進事業 (通称:土木未来チャレンジ事業)

建設政策課

背景

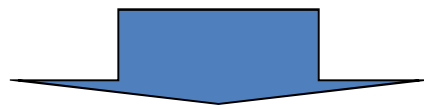
- 住民意見を取り入れた事業を推進中
→地域の実情に応じた道路計画(1.5車線の道路整備)など
- 公共事業の構想段階における住民参加手続きガイドライン
by国交省H15年6月
→住民等との協働の下で、事業の公益性や必要性について適切な判断を行う
- 公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドライン
by国交省H20年4月
→社会面、環境面等の様々な観点から総合的に検討を行い、計画を合理的に導き出す過程を住民参画のもとで進めていく



と き め き

土木未来チャレンジ事業

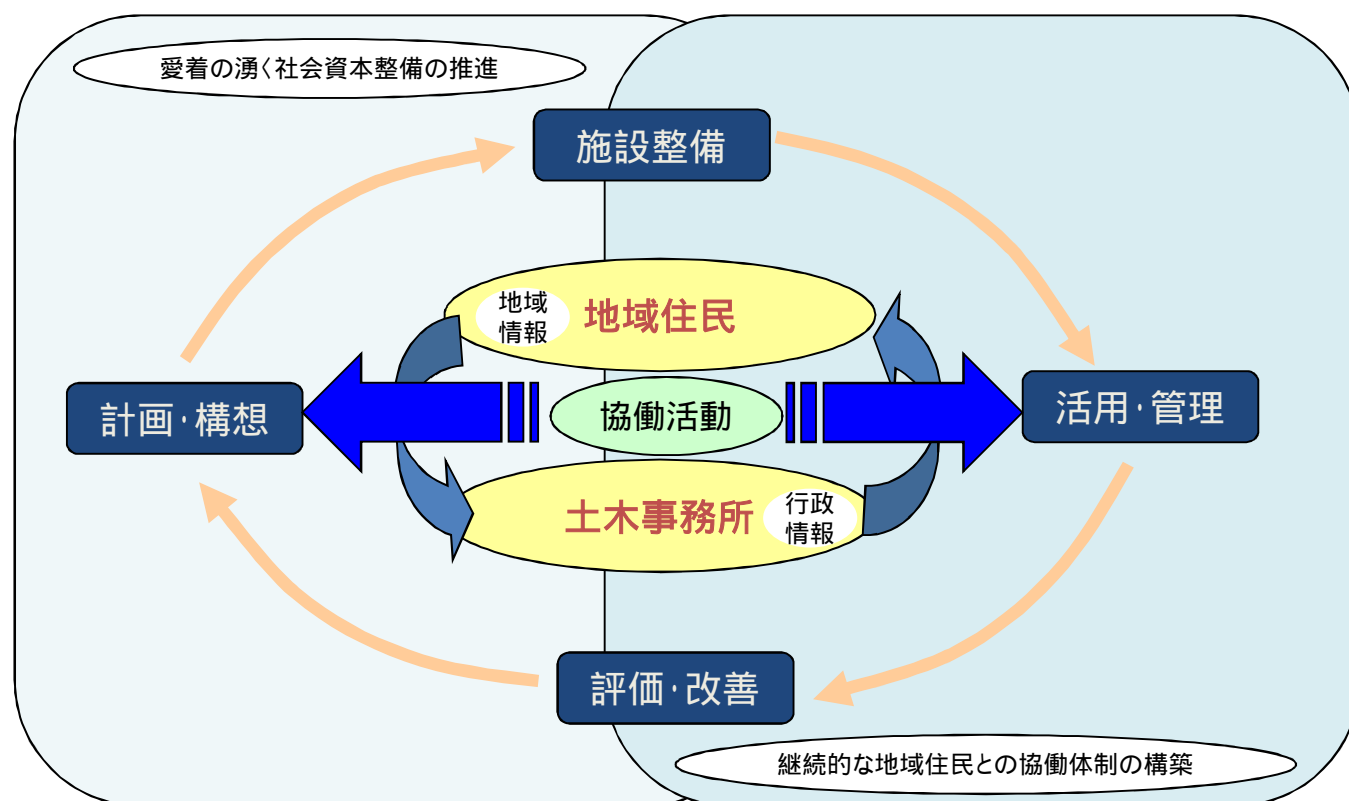
- 愛着の湧く社会資本整備の推進
- 継続的な地域住民との協働体制の構築



事業着手の優先度把握(選択と集中)
協働による施設の適切な維持管理
地域の防災体制強化

事業概念

(事業化に向けた調査業務や維持管理委託事業などの既存事業で対応できない部分に充てる)



意見交換会

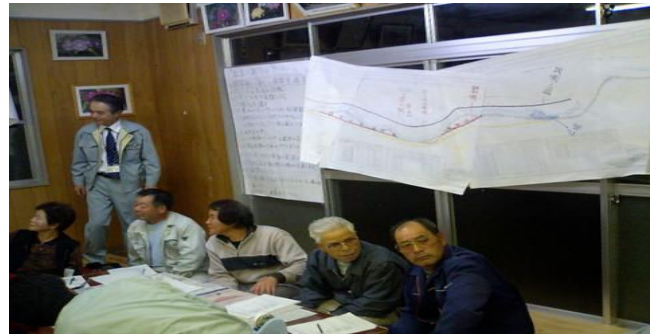
構想段階

- 地域住民アンケートを行い、行政と住民が協働して意見集約
- 地域住民間でも価値観の違いがあることを知る
- 住民総意として求められているものは何か考える



計画段階

- 地域住民と行政が議論を重ねてルートを決定
- 決定作業に参画したことから、地域の合意形成がスムーズに
- 維持管理への住民参画の必要性についても意見交換



現地調査

施設整備と維持管理

- 行政と地域住民(施設利用者)が協働して現地調査
- 改良、補修が必要な場所はどこか、相互に確認
- 行政ができること、住民にして欲しいこと、現地で意見交換



地域の環境調査

- 地域内の河川を子ども達と調査
- 河川愛護や防災への意識醸成、地域景観自然の再発見に寄与



現地活動

美化活動

- 行政と地域住民(施設利用者)が協働して沿道景観美化
- 道路への愛着心を育み、手入れ等で活動を継続的に進める



清掃活動

- 地域の共有財産である道路の草刈りや清掃を、地域住民や企業などと連携・協力して実施。
- 自発的な環境保全行動で「ごみゼロおおいた作戦」の展開にもつながる。



情報発信

(地域の行事に参加)

- イベント参加をきっかけとした連携体制づくり
- 地区総会等に時間を貰い、土木建築行政を紹介など

(紙媒体広報)

市報への折込や回覧板などで、幅広い地域住民とのコミュニケーションをスタート

- 土木事務所業務の紹介
- 工事場所・期間、迂回路のお知らせ
- 協働活動スタート後は、不参加者への報告